

地域と連携した学校教育

益城町の学校では、スポーツや芸術に^{たんのう}堪能な地域の方々に部活動やクラブ活動で指導をいただいたり、公民館講座等で身につけられた知識や技能を学校の授業や放課後の学習で教えてもらったり、伝統芸能や昔遊びを学校行事や総合的な学習の時間に伝えてもらうなど、町民の皆様の力をたくさんお借りしています。また、安全パトロールや読み聞かせ、花壇の手入れ、サツマイモや稲栽培のための農地提供等地域の皆様のさまざまなご支援のおかげで、子どもたちは心豊かにたくましく成長しています。

このような活動の中から2つの事例を紹介します。

学校支援地域本部事業

県内30市町村で国と県の委託を受けて実施している事業で、本町では益城中央小学校が実施しています。

校区の支援ボランティアの方が中心になって「みまもり隊」「きれいにし隊」などを結成し、登下校の安全確保や学校の清掃



益城中央小「支援ボランティア」の活動

活動に協力いただいているほか、中央小フェスタ等の

行事で昔遊びを伝えたり、花壇や畑の手入れを手伝っていただいたりしています。また、陶芸、そろばん、読み聞かせなど公民館講座で学んだ知識や技能をいかして定期的に学校支援をいただいています。

このような活動に欠かせないのが学校とボランティアをつなぐコーディネーターの役割です。学校と教育委員会に1人ずつ配置して連携を図っています。

将来は全部の学校でこのような活動ができるようにしたいと考えています。



益城中央小3年生の「そろばん学習」

放課後子ども教室

飯野・津森の2つの小学校で実施しています。

放課後や夏休みにそれぞれの学校の教室で、町学校支援人材バンク登録者や公民館講座受講生等の皆さんにそろばん学習や自主学習の指導をしていただいています。

現在、2年生から5年生までの児童約50人が、週1回の学習に楽しく参加しています。

また、安全に学習が進められるように安全管理者として地域の方に協力いただいています。

2月1日には2つの事業を県の教育次長さんはじめ多くの関係者が視察に來られました。



津森小の「そろばん学習」